

## 夫婦の老後にどれだけお金がかかるの？

平成25年の簡易生命表によりますと、0歳児の平均寿命は男性80.21歳、女性86.61歳ですが、65歳の平均余命で見ますと男性84.08歳、女性88.97歳となります。この年齢はあくまでも平均なので、もっと長く生きる人もたくさんいます。

### (統計の平均値で見る家計収支)

ここで高齢世帯の家計収支を見てみましょう。総務省の家計調査によりますと、65歳以上の高齢夫婦の無職世帯では、生活費が月額約27.2万円(税・社会保険料込み)かかります。年金などの実収入は月額約21.5万円ですので、月額約5.8万円の不足分はそれまでの貯蓄を取り崩していることとなります(図表1参照)。

高齢の単身無職世帯で見ますと、生活費が月額約15.7万円(税・社会保険料込み)、実収入は約12.3万円ですので、月額約3.4万円が不足します(図表1参照)。

図表1 ■ 高齢無職世帯(夫婦・単身)の世帯収支

	夫婦無職世帯(月平均額) —夫65歳以上、妻60歳以上の 夫婦のみの無職世帯	単身無職世帯(月平均額) —60歳以上の単身無職世帯
	食費	60,459円
住居費	16,628円	15,419円
水道光熱費	20,587円	13,127円
家具・家事用品費	9,523円	5,650円
被服・履物費	7,132円	4,656円
保険医療費	15,106円	8,600円
交通・通信費	25,327円	11,922円
教養・娯楽費	26,055円	16,055円
その他(交際費等)	61,770円	36,478円
税・社会保険料	29,857円	12,133円
合計	272,455円	156,953円
実収入	214,863円	123,308円
収支	▲57,592円	▲33,645円

出所:総務省「家計調査(2013年)」

老後生活を迎えるにあたり、上記データにより生活費の不足額をラフに試算してみました。65歳から25年間の不足額累計を計算します。25年間としたのは、医療の進歩で平均余命は延びる傾向にありますので、90歳くらいまで生きることを目安にします。累計では夫婦世帯で約1740万円、単身世帯で約1020万円の不足が生じます。データで見ると、生活費だけでもこれだけの貯蓄が必要であることを意味します。

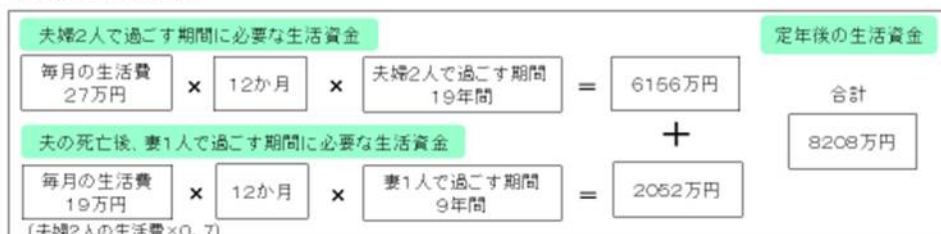
### (老後のお金の見積もり方法)

ここまで高齢世帯の家計収支をザックリと見てきましたが、ここで家計支出に絞り込んで「夫婦の老後生活にかかるお金」の見積もり計算のやり方を説明します。

一般的には、夫婦の平均余命を基準として老後資金を試算します。ここでは、夫、妻ともに65歳の2人世帯で考えてみましょう（[図表2参照](#)）。

図表2 ■平均値で見る夫婦の老後にかかる生活費

夫婦ともに65歳の場合



(夫婦2人の生活費×0.7)

[男女別平均余命表～平成25年簡易生命表より]

(歳)	男	女	(歳)	男	女	(歳)	男	女
60	23	28	70	15	20	80	9	12
61	22	28	71	15	19	81	8	11
62	21	27	72	14	18	82	8	10
63	21	26	73	13	17	83	7	9
64	20	25	74	12	16	84	7	9
65	19	24	75	12	15	85	6	8
66	18	23	76	11	15	86	6	8
67	18	22	77	10	14	87	5	7
68	17	21	78	10	13	88	5	6
69	16	20	79	9	12	89	5	6

※小数点以下四捨五入

夫65歳の平均余命19年より、夫婦で過ごす期間を19年間として求めます。次に、夫死亡時に妻の年齢欄（ここでは84歳）の平均余命が9年となっていますので、妻が1人で過ごす期間を9年間として求めます。このように2期間に分けたのは、どちらか1人になったときの生活費は、2人のときの7割に見積もって計算するためです。税金や各種保険料、さらに水道光熱費など基本料金のある支出は、1人になったからといって半減するものではないからです。

夫婦2人で過ごす期間の支出（食費、水道光熱費など基本生活費のほか税・社会保険料も含む）を月額27万円、妻1人の期間は2人期間の7割で月額19万円としますと、「夫婦の老後生活にかかるお金」は約8200万円となります。

### (その他にかかってくるお金のあれこれ)

ここで注意をしたいのが、ここまで計算してきたお金は生活費に注目した試算です。これには住まいの建て替えやリフォーム費用、車の買い替え費用などの一時的な支出は含めていません。この他にも、介護期を見越して、ケア付き有料老人ホームなどの入居費や月々の費用（生活費の上乗せ部分）を見込んでおく人や、子どもの結婚資金援助を考えている人もいます。

それぞれの実情に応じて上乗せをすることになります。